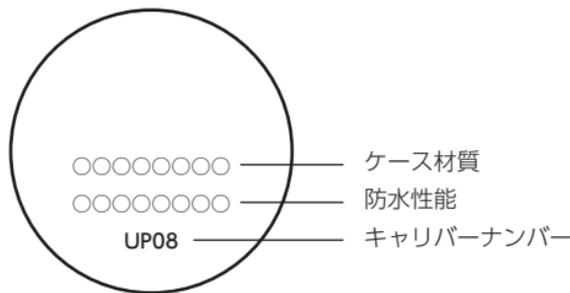


Q&Qソーラー電源電波ウォッチ 取扱説明書

この度は、弊社Q&Qソーラー電源電波ウォッチをお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要な際にご覧ください。

機種の見分け方

お買い上げの時計の裏蓋に下図のようにCAL.NO を刻印してあります。お確かめの上、「製品仕様」「充電時間のめやす」をご覧ください。



※一番下に記載されている数字がキャリバーNo.です。

製品仕様 (UP08)

1. 特徴	長波標準電波を受信し、時刻を自動修正できるソーラーコンビネーション電波時計
2. 時間精度 [非受信時]	平均月差±30秒以内 (常温5℃~35℃)
3. 基本機能	電波受信による時刻修正が正しく行われなかったとき
	時刻表示 (アナログ部表示) 時・分・秒 (デジタル部表示) 時・分・曜日または月・日・曜日 2099年までのフルオートカレンダー、サマータイム機能
	クロノグラフ 計測時間 24時間 (23時間59分59秒) 計測単位 1/100秒 (60分未満) 1秒 (60分以上)
	計測機能 通常計測
	アラーム 時刻アラーム
	時報 毎正時 (00分)
	ローカルタイム ローカルタイムの時・分 (15分単位)
4. 付加機能	電波受信機能
	受信電波 4地域5局 日本2局・中国・ドイツ・アメリカ 定時受信 1日最大2回 (午前2時、午前4時) 強制受信 手動による受信 受信局自動選局機能 (日本標準電波専用) 受信中レベル表示 受信結果確認機能
	LED照明 ①ボタンを押すとLED照明が点灯する (約2秒間/回)
	充電機能 ソーラー電源機能
	節電機能 自動的にデジタル表示を消灯して節電を行う
	過充電防止機能 二次電池がフル充電されるとそれ以上充電しない 充電警告機能 二次電池の残量が極端に少なくなるとアナログ秒針が2秒遅針を行う
5. 持続時間	フル充電から約1年 (充電の行われない環境下においての使用) フル充電から約1.5年 (節電機能状態で保管) ※電波の受信回数や、各機能の使用状況によって異なります

※二次電池の交換は危険なので絶対に行わないでください。

お取扱について

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的障害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

注意 人への危害を防ぐために

- ・サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため、絶対に使用しないでください。
- ・激しい運動や作業をおこなうときは、ご自身や第三者へのけがや事故に十分ご注意ください。
- ・幼児をだくとときなどは、けがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- ・ケースやバンドは直接肌に接しています。体質や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じる場合があります。異常を感じたら、すぐに使用を中止して医師に相談してください。

かぶれの原因

- ・金属、皮革アレルギー
- ・時計本体およびバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗など

- ・バンドの中留構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

警告 防水性能について

※防水時計の防水性能や機能を必ず確認いただき、正しくご使用ください。

- ・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・日常生活用防水時計（3気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水時計（5気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキューバダイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
- ・日常生活用強化防水時計（10/20気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水/ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

名称	表示 文字板または裏 ぶた	仕様	使用例				
			 水がかかる程度 の使用。(洗顔、 雨など)	 水仕事や一般水 泳で使用。	 スキューバダイ ビングマシンの ボウズで使用。	 スキューバを使 用するスキュー バ潜水で使用。	 水漏れ防止状 態での「ゆうず ぼタン」の操作。
非防水時計	—	非防水	×	×	×	×	×
日常生活用防水時計	WATER RESIST (もしくはRESISTANT)	3気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST(もしくは RESISTANT) 5 bar	5気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST(もしくは RESISTANT) 10/20 bar	10気圧防水、 20気圧防水	○	○	○	×	×

ご注意

- ・水中および水分のついたままりゅうずぼタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・時計の内部にも多少の湿気がありますので、外気の温度が時計内部より低いときは、ガラス面がくもる場合があります。
- ・時計内部に水が入ったり、ガラス内面にくもりが発生し長時間消えない場合は、そのまま放置せず修理・点検を依頼してください。
- ・時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理を依頼してください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラスやボタンなど）が外れる恐れがあります。
- ・安全に長くご使用いただくために、2～3年に一度、点検（有償）を行なってください。防水時計の防水性能は経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやパネ棒などの交換を行なってください。部品交換の際は、純正品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行なう必要がある場合もあります。
- ・ご入浴でのご使用は石鹸・シャンプーなどで防水性の低下につながりますのでご使用はおやめください。
- ・修理・点検の際には、お買い上げ店または**Q&A**お客様相談室へご相談ください。

お取扱について

⚠警告 二次電池の取扱について

※この時計は、電気エネルギーを蓄える二次電池を使用しています。この時計に使われている二次電池は、充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。

⚠警告 時計から二次電池を絶対に取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かないところに保管してください。万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。二次電池は、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となりますので、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠警告 指定の二次電池以外は使わないでください。この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり破裂して時計に破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

⚠注意 携帯時の注意

- ・温度について
極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。
- ・磁気について
アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けると、モーターの動きがみだれて正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレスや磁気健康腹巻)、冷蔵庫のマグネットドア、バックの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などには近づけないでください。
- ・静電気について
クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。
- ・ショックについて
床面に落とすなどの激しいショックを与えないでください。
- ・化学薬品・ガス・水銀について
化学薬品やガスの中でのご使用はおやめください。シンナーやベンジンなどの各種溶剤およびそれ

らを含むもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤など)が時計に付着すると、変色・溶解・ひび割れなどを起こすことがあります。

- ・バンドについて
皮革(合皮)バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります(脱色、接着はがれ)。また、かぶれの原因にもなります。
皮革(合皮)バンドの時計は、防水時計であっても水を使うときは時計を外すことをおすすめします。バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
ウレタンバンドは、衣類などの染料や汚れが付着し、除去できなくなる場合があります。色落ちする衣類やバックなどと一緒に使用するときにはご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

⚠注意 時計は常に清潔に

- ・リゅうずやプッシュボタンを長時間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきリゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ・ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にご使用ください。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたら、すぐに使用を中止して医師に相談してください。
- ・皮革(合皮)バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

⚠注意 時計のお手入れ方法

- ・ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- ・金属バンド・プラスチックバンド・ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- ・時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

お取扱について

<夜光付き時計について>

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- ・蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- ・光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に差異が生じます。
- ・光が十分に蓄えられてないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。
- ・LED照明をお使いの場合、LED照明と蓄光インクとの相性が良くないため発光しない場合があります。

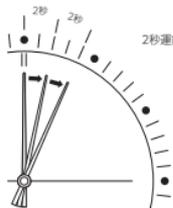
目次

製品仕様	1	10. チャイムモード	43
お取扱について	2	11. ローカルタイムモード	44
目次	7	12. クロノグラフモード	46
1. ご使用になる前に	8	13. LED照明の使い方	49
2. 商品の特徴	10	14. 基準位置の確認方法/基準位置の合わせ方	50
2-1) ソーラー電源機能搭載時計について	11	15. データの初期化	52
2-2) 電波時計について	16	16. 困った時に	53
3. 各部名称	19	17. 保証とアフターサービス	55
4. 機能説明	20		
5. モードの切替え方	22		
6. 都市コード設定	24		
7. 時刻の合わせ方	27		
7-1) 定時受信	27		
7-2) 強制受信	29		
7-3) 手動による時刻の合わせ方	32		
8. サマータイム設定	38		
9. アラームモード	40		

1. ご使用になる前に

<充電量の確認>

この時計は、充電不足になると「充電警告機能」が働き、秒針が2秒毎に動きます（2秒運針）。この「充電警告機能」が働いた場合は、文字板を光に当てて充電してください。しばらく充電すると秒針が1秒毎に動くようになります。



2秒運針 → 充電不足を知らせていますので、十分に光を当ててください。
2秒運針は、約29日間続きます。

※2秒運針状態でも、2秒運針前の時刻を記憶して動いていますが、充電不足状態になっていますので1秒運針になるまで十分に充電してからご使用ください。

詳しくは、**2. 商品の特徵 充電警告機能**（P12）をご確認ください。

<受信結果の確認>

この時計は、世界4地域5局の標準電波送信所から送信される時刻情報を受信し、時刻と日付を自動修正する電波時計です。

1. (M)ボタンを押して時刻カレンダーモードの時刻表示状態もしくは、カレンダー表示状態にしてください。（時刻表示状態/カレンダー表示状態どちらからでも操作できます）

デジタル表示部の受信マーク【】で確認できます。受信マークが点灯すれば前回の強制受信もしくは定時受信が受信成功、消えている場合は受信失敗です。マーク点灯状態は次の受信まで続きます。

2. (R)ボタンを押すと前回の受信結果表示に変わります。受信が成功した場合、OKが表示されます。受信ができなかった場合、NOが表示されます。

詳しくは、**2. 商品の特徵 電波時計について**（P16）をご確認ください。

<選択都市の確認>

世界主要26都市の時刻と日付に切替え可能な「ワールドタイム」（サマータイム対応）機能搭載の時計です。

1. (M)ボタンを押して都市時刻表示モードにしてください。
お住まいの地域に最も近い都市を選び設定してください。

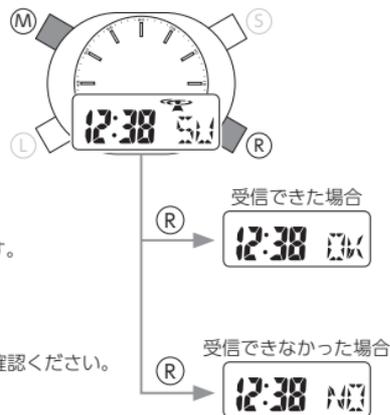
詳しくは、**6. 都市コード設定**（P24）をご確認ください。



ご注意

- 標準電波受信での「定時受信」「強制受信」をする場合、設定する都市により受信できる標準電波が違いますので、世界26都市の中からお住まいの地域にもっとも近い都市を選び設定してください。設定した都市の時刻がアナログと時刻カレンダーモードに表示されます。
- 標準電波受信をしても、自動で都市は切替りません。お住まいの地域に最も近い都市を選び設定してください。

詳しくは、**6. 都市コード設定**（P24）をご確認ください。



2. 商品の特徴

この時計の特徴

光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させる「ソーラー電源機能搭載」

世界4地域の正確な時刻情報を受信できる「電波時計」

世界主要26都市の時刻と日付に切替え可能な「ワールドタイム」(サマータイム対応)

フルオートカレンダー (2099年12月31日まで修正不要)

1/100秒計測可能クロノグラフ

電波時計

世界4地域5局の送信所からの電波を受信して、正確な時刻・カレンダーに自動で修正します。



ソーラー電源

光で充電するため、定期的な電池交換がいりません。

クロノグラフ

経過時間を計測・表示します。

フルオートカレンダー

月末にカレンダーを自分で修正する必要はありません。
うるう年も自動で更新します。

ワールドタイムアラーム

各都市の時刻に合わせてアラームが鳴ります。



ワールドタイム

時差や都市を設定するだけで、世界主要26都市の時刻と日付が簡単に表示できます。



2-1) ソーラー電源機能搭載時計について

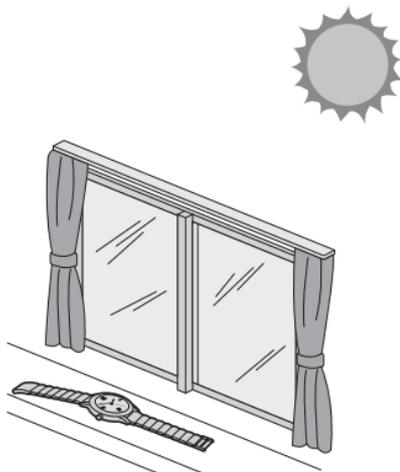
この時計は文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させるソーラー電源機能搭載時計です。

電気エネルギーを蓄える二次電池を内蔵しています。文字板に直射日光や蛍光灯などの光を当てることにより、充電できます。

時計を快適にお使いいただくには、常に充電を心がけてお使いください。

- ・月に一度はお天気の良い日に直射日光に当てて5~6時間充電する。
- ・時計を外したら、太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置く。
- ・時計を光の当たらない場所で長期保管するときは、保管前に十分に充電をする。

また、日常長袖などを着用しているとき時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。快適にご使用いただくために、余裕を持って充電することを心がけてください。この時計は、どんなに充電しても過充電の心配はありません。



月に一度はお天気の良い日に直射日光に当てて5~6時間充電してください

⚠️注意 充電上の注意

・充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温 (60℃以上) での充電は避けてください。

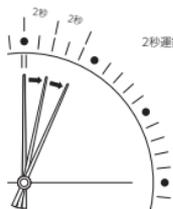
例)

- ・白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電
※白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
- ・車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電

2. 商品の特徴

充電警告機能（充電不足状態）

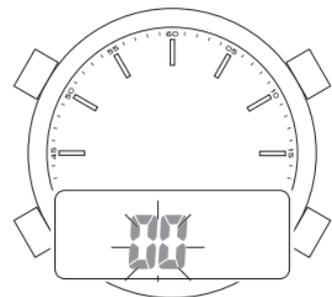
この時計は、充電不足になると「充電警告機能」が働き、秒針が2秒毎に動きます（2秒運針）。この「充電警告機能」が働いた場合は、文字板を光に当てて充電してください。しばらく充電すると秒針が1秒毎に動くようになります。2秒運針状態では、電波受信機能・時刻修正・都市選択・サマータイム設定・クロノグラフ・アラーム・チャイム・LED点灯の機能が使用できなくなります。



2秒運針 → 充電不足を知らせていますので、十分に光を当ててください。
2秒運針は、約29日間続きます。

※2秒運針状態でも、2秒運針前の時刻を記憶して動いていますが、充電不足状態になっていますので1秒運針になるまで十分に充電してからご使用ください。

動作停止（充電不足が続いた場合）



2秒運針状態が約20日間以上続くと、さらに充電不足となり時計が停止します。停止した場合は、アナログ運針停止・液晶パネル全消灯・時刻の計時機能停止となります。その後、十分な充電をすると液晶パネルが「00」点滅して「基準位置合わせ」状態になります。

十分な充電後に**14. 基準位置の確認方法**（P50）で針の基準位置を合わせてください。その後**7. 時刻の合わせ方 7-2. 強制受信**（P29）で電波受信をお願いいたします。

充電時間のめやす

連続して照射した場合の数値です。（文字板の色、デザインにより異なります）

	1日動くのに必要な充電時間	停止状態～1秒運針	停止状態～フル充電
500Lux (蛍光灯下での室内)	8.5時間	—	—
3000Lux (蛍光灯スタンド15W×2本の下20cm)	90分	170時間	—
10000Lux (曇天)	25分	50時間	220時間
100000Lux (真夏の直射日光)	5分	6.5時間	50時間

1日あたりの使用量目安

LEDライト1回（2秒）・アラーム1回（15秒）・時報24回・節電モード（4時間）

フル充電後、一度も充電されないと、持続時間は約1年となります。節電モードが作動しているときは、約1.5年間時刻を刻み続けます。ただし、充電不足で停止してしまうと、時計が動き出すまでに時間がかかりますので、毎日の充電を心がけてご使用ください。

また、一度、停止してしまうと、全ての機能が停止しますので、**7. 時刻の合わせ方 7-2. 強制受信**（P29）で電波受信、**6. 都市コード設定**（P24）を再度、お願いいたします。

2. 商品の特徴

節電モードについて

午前12時から午前4時30分の間で時計が暗所で使用され、なおかつ時計のボタン操作が30分以上に渡って行われないと節電機能が働き、時計のデジタル表示を消灯させて節電を行います。ただしアナログ表示は通常運針を継続します。

節電機能を解除するには

節電モード作動状態において十分な明るさの光が当たると時計が発電を開始して節電機能が解除されます。また、節電機能作動中に任意のボタンを押すとLED照明が点灯して節電機能が解除されます。

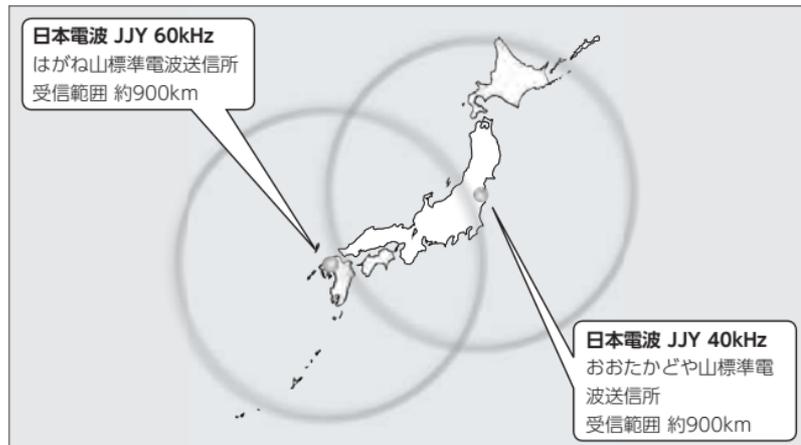
- クロノグラフ計測中に節電機能へ移行すると時計の表示は消灯しますがクロノグラフのカウントは継続されています。
※節電機能作動中でもクロノグラフ計測は継続されています。節電機能を解除するために⑤ボタンまたは⑧ボタンを押しますと計測ストップとなります。クロノグラフ計測開始後に時刻表示・カレンダー表示に戻しておきますとボタンの誤入力による計測データの損失を防止することができます。
- 節電機能作動中でもアラームの設定時刻になるとアラームが作動します。アラーム停止後も引き続き節電機能を継続します。
- 節電機能作動中でもチャイムを「On」に設定しますと毎正時（00分）ごとに時報が鳴ります。
- 節電機能作動中でも定時受信開始時刻になると定時受信を行います。受信完了後も引き続き節電機能を継続します。

2. 商品の特徴

2-2) 電波時計について

この時計は、世界4地域5局の標準電波送信所から送信される時刻情報を受信し、時刻と日付を自動修正する電波時計です。受信できる各送信所の位置と受信範囲の目安は次のとおりです。

送信所	標準電波
日本 おおたかどや山電波送信所 (福島局) 日本 はがね山電波送信所 (九州局)	JJY
アメリカ コロラド州デンバー フォートコリンズ送信所	WWVB
ドイツ フランクフルト南東 マインフリンゲン送信所	DCF77
中国 河南省商丘市送信所	BPC



※距離は目安としてご利用ください。環境、天候によって影響されます。

日本国内の標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守点検等で送信が中断されることがあります。



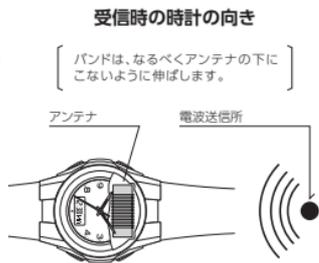
※距離は目安としてご利用ください。環境、天候によって影響されます。



2. 商品の特徴

電波を上手に受信するために

電波は金属の遮蔽物により受信しにくいことがあります。標準電波を受信するときは時計を腕から外し、窓際など電波を受信しやすい安定した場所に置き、受信中は時計を動かさないでください。電波受信用のアンテナは、この時計の12時位置に組み込まれています。時計の12時位置を電波送信所に向けて置いてください。



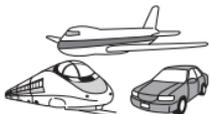
受信が困難な場所

次のような電波ノイズが発生しやすい場所や、標準電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。

- ・ 極端に高温や低温の場所



- ・ 乗り物の中



- ・ 電化製品やOA機器の近く



- ・ 高圧線（電線）、電車の架線、飛行場（通信施設）の近く



- ・ 鉄筋コンクリートの建物の中、高層ビルや山などの谷間、地下



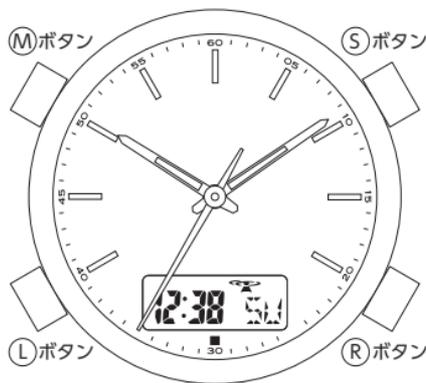
- ・ 通信中の携帯電話の近く



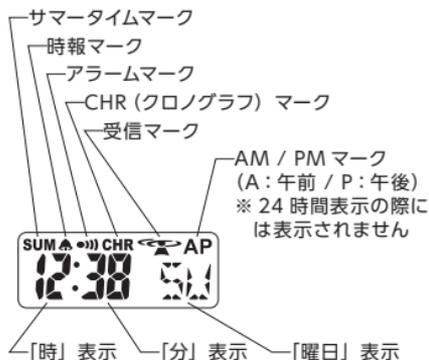
※受信困難な環境下では時計に内蔵されているクォーツの精度で作動します。受信可能な環境に戻ると受信を行うことにより正確な時刻を表示します。また、受信を行ってから次の受信を行うまでの間も時計に内蔵されているクォーツの精度で作動します。※電波を正しく受信しても、受信環境や時計の内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じることがあります。

3. 各部の名称

アナログ部



デジタル部 [時刻表示モード]



デジタル部 [カレンダーモード]



曜日表示に付いて



※曜日表示は英字のみで日本語表示にはなりません

4. 機能説明

時刻カレンダーモード

時刻もしくはカレンダーを表示します。
12/24時間表示切替え機能つき
カレンダー表示 2099年12月31日までフルオート
カレンダー



都市時刻表示モード

全26都市の中から選択した都市の時刻が表示できます。



サマータイムモード

4種類の設定ができます。



アラーム設定モード

アラームON時刻を時分単位で設定できます。
ON/OFF切替え機能つき。



チャイムモード(時報)

チャイム(時報) ONを設定できます。ON/OFF切替え機能つき



ローカルタイムモード

時刻カレンダーモードで表示する時刻と違う時刻を15分
単位で設定表示できます。



クロノグラフモード

計測範囲時間 23時間59分59秒
計測単位 1/100秒
59分59秒99まで
1/1秒
60分以上23時間59分59秒
操作音ON/OFF切替え機能つき



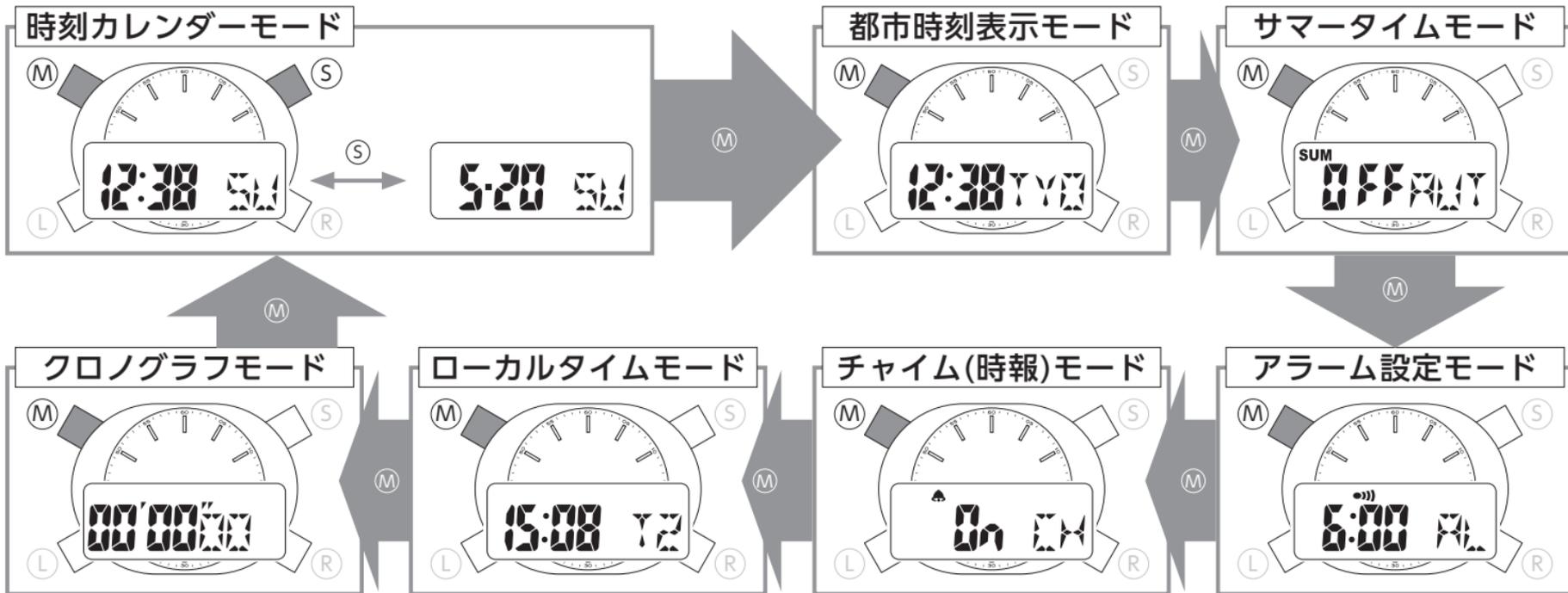
その他

LEDライト機能つき (液晶部)

5. モードの切替え方

- ・モードの切替えは、**M**ボタンを押すごとに時刻カレンダーモード/都市時刻表示モード/サマータイムモード/
- ・時刻カレンダーモードには、時刻表示とカレンダー表示があり、**S**ボタンを押すと表示が切替わります。
- ・時刻表示もしくはカレンダー表示のどちらかでも**M**ボタンを押すと都市時刻モードに切替わります。

アラームモード/チャイムモード/ローカルタイムモード/クロノグラフモードの順序で切替わります。



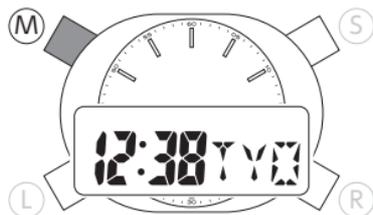
※時刻カレンダーモードへの自動切替え機能

サマータイムモードでの設定表示状態、アラームモード通常状態、チャイムモード設定状態でボタン操作が2分間行われない場合、時刻カレンダーモードに切替わります。

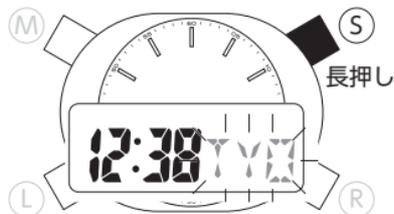
6. 都市コード設定

標準電波受信での「定時受信」「強制受信」をする場合、設定する都市により受信できる標準電波設定した都市の時刻がアナログと時刻カレンダーモードに表示されます。

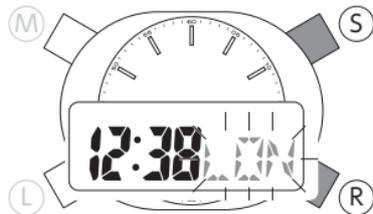
1. ④ボタンを押して都市時刻表示モードにしてください。



2. ⑤ボタンを2秒以上長押ししてください。都市コード3文字が点滅し、点滅している都市の時刻を表示します。時・分・秒針は停止します。
※都市コード点滅状態でボタン操作が2分間行われない場合は、点滅している都市で点滅が終了し設定が終了した状態になります。デジタル部、アナログ部、点滅が終了した時刻に変わります。



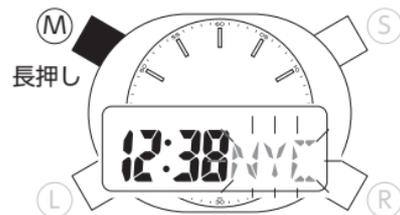
3. 点滅状態で⑤ボタンもしくは⑥ボタンを押して都市を選択してください。都市を変更するとその都市の時刻が表示されます。
(都市コードは、点滅しています)



が違いますので、世界26都市の中からお住まいの地域にもっとも近い都市を選び設定してください。

4. 都市を決定する場合は、選択している都市コードが点滅している状態で④ボタンを2秒以上長押ししてください。点滅が終了し都市コードが決定します。同時にアナログ部(時・分・秒針)も決定した都市の時刻に早回転して変わります。

※都市コードを決定後、アナログ部(針)が決定都市時刻に早回転で変わっている間に⑤ボタンを2秒以上押すと再び都市コード3文字が点滅し都市コード選択状態になります。



時計での表示	時差	都市名
AKL	+12	オークランド
NOU	+11	ヌメア
SYD	+10	シドニー
ADL	+9.5	アデレード
TYO	+9	東京
BJS	+8	北京
BKK	+7	バンコク
DAC	+6	ダッカ
DEL	+5.5	デリー
KHI	+5	カラチ
DXB	+4	ドバイ
RUH	+3	リヤド
ATH	+2	アテネ

時計での表示	時差	都市名
PAR	+1	パリ
LON	0	ロンドン
PDL	-1	アゾレス諸島
FEN	-2	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島
RIO	-3	リオデジャネイロ
SCL	-4	サンディアゴ
NYC	-5	ニューヨーク
CHI	-6	シカゴ
DEN	-7	デンバー
LAX	-8	ロサンゼルス
ANC	-9	アンカレッジ
HNL	-10	ホノルル
MDY	-11	ミッドウェー諸島

7. 時刻の合わせ方

この時計の時刻の合わせ方は、「定時受信」「強制受信」「手動による時刻合わせ」があります。受信できる電波は、**2. 商品の特徴 2-2. 電波時計について** (P16~18) を参照してください。受信できる電波に合わせて都市コードの設定変更をしてください。

7-1) 定時受信

定時受信は、時刻表示状態/カレンダー表示状態/都市時刻表示状態/ローカルタイム通常表示状態で午前2時および午前4時になると自動的に定時受信状態に変わります。午前2時に受信が成功した場合は、午前4時の定時受信は行いません。受信する電波は、都市時刻表示モードで選択した都市の標準電波のみ受信し、受信に失敗した場合は、他の標準電波は受信しません。標準電波局、受信範囲目安、また上手に電波を受信するには、**2-2. 電波時計について** (P16~18) をお読みください。



海外での受信方法

この時計が受信できる電波は、4地域5局 [日本2局・中国・ドイツ・アメリカ] になります。各電波の受信範囲は、**2-2. 電波時計について** (P16~18) をご覧いただき、世界26都市の中からお住まいの地域にもっとも近い都市を選び設定してください。

7. 時刻の合わせ方

受信結果が確認できます

1. **M** ボタンを押して時刻カレンダーモードの時刻表示状態もしくは、カレンダー表示状態にしてください。(時刻表示状態/カレンダー表示状態どちらからでも操作できます)
デジタル表示部の受信マーク  で確認できます。受信マークが点灯すれば前回の強制受信もしくは定時受信が受信成功、消えている場合は受信失敗です。マーク点灯状態は次の受信まで続きます。
2. **R** ボタンを押すと前回の受信結果表示に変わります。受信が成功した場合、OKが表示されます。受信ができなかった場合、NOが表示されます。

※2秒以上押すと受信結果表示後、「強制受信」状態になります。

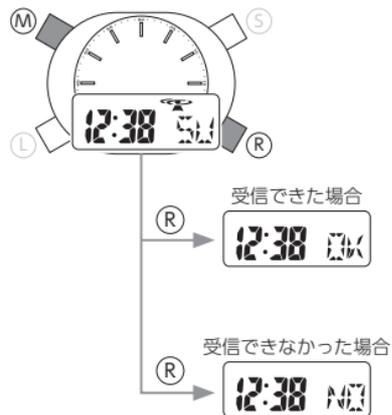
3. **R** ボタンを押すと時刻表示状態もしくは、カレンダー表示状態に戻ります。

※受信結果表示状態では、10秒間ボタンを押さないで放置した場合、時刻表示状態もしくは、カレンダー表示状態に戻ります。

※受信結果表示状態から**R** ボタンを2秒以上長押しすると「強制受信」状態に変わります。

参考

受信結果表示へは、都市時刻表示状態・ローカルタイム通常表示状態からでも同じ操作できます。



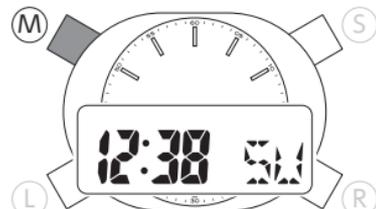
7-2) 強制受信

必要なときに、ボタン操作で標準電波を受信して時刻/カレンダーを修正することができます。強制受信は、時刻表示状態/カレンダー表示状態/都市時刻表示状態/ローカルタイム通常表示状態で行えます。受信する電波は、都市時刻表示モードで選択した都市の標準電波のみ受信し、受信に失敗した場合は、他の標準電波は受信しません。

標準電波局、受信範囲目安、また上手に電波を受信するには、**2-2. 電波時計について** (P16~18) をお読みください。

強制受信の操作方法

1. **M** ボタンを押して時刻カレンダーモードの時刻表示状態もしくは、カレンダー表示状態にしてください。(時刻表示状態/カレンダー表示状態どちらからでも操作できます)



2. **R** ボタンを2秒以上押ししてください。デジタル表示は、受信結果表示後、即、時分REC表示に変わり電波受信を開始します。アナログ(針)は、秒針が早回転し12時位置で停止します。

※時分針は、**R** ボタンを押すとその場で停止します
※受信結果表示状態からも**R** ボタンを2秒以上押しすると電波受信を開始します。



受信を開始するとデジタル表示は、消えて時分RECを7.5秒間隔で繰り返し表示し、その後電波受信中の状態になると時分と(H)(M)(L)のいずれかの同時表示に変わり7.5秒~19.5秒間隔で繰り返し表示します。



7. 時刻の合わせ方

3. 受信が終了すると受信結果を表示し、10秒後に時刻表示状態もしくはカレンダー表示状態に変わります。

受信が成功している場合は、標準電波の時刻情報により正しい時刻と日付に修正表示され受信マーク

【】も表示します。受信ができなかった場合は、受信操作前の時刻から累積された時刻に戻り表示します。

アナログ（針）は、受信が終了すると早回転して修正を開始します。



参考

強制受信は、都市時刻表示状態・ローカルタイム通常表示状態からでも操作できます。

操作方法は、**2**・**3**と同じです。受信終了後10秒後に \textcircled{R} ボタンを押す前の表示に戻ります。

「定時受信」「強制受信」での注意

- ※クロノグラフモード表示では、受信はできません。クロノグラフ計測中は、受信はできません。
- ※時刻修正状態では、受信はできません。
- ※都市コード選択状態では、受信はできません。
- ※サマータイムモードでは、受信できません。サマータイム選択状態では、受信はできません。
- ※アラーム設定モードでは、受信できません。
- ※チャイムモードでは、受信できません。
- ※ローカルタイム修正状態では、受信できません。
- ※アナログ（針）の早送り状態（基準位置合わせ）では、受信できません。
- ※充電警告状態（2秒遅針）では、受信できません。
- ※定時受信開始とアラームが鳴るタイミングが重なった場合は、アラームが鳴るのを優先し終了後受信を開始します。

※定時受信とチャイムの鳴るタイミングが重なった場合は、チャイムが鳴るのを優先し終了後受信を開始します。

※受信中（定時/強制）アラームが鳴るタイミングが来た場合は、受信を中止しアラームが鳴るのを優先し終了後再度受信を開始します。

※受信中（定時/強制）チャイムが鳴るタイミングが来た場合は、受信を中止しチャイムが鳴るのを優先し終了後再度受信を開始します。

※受信中は、LEDライトの点灯は、できません。

※LED点灯中に受信のタイミングが来た場合は、LED点灯終了後受信を開始します。

※強制受信を多用すると二次電池を早く消耗します。

受信の中止の操作方法

受信状態で \textcircled{M} ボタンを2秒以上押しと受信を中止して各表示状態へ戻ります。アナログ（針）は、受信前の時刻から累積された時刻に戻ります。

受信状態中に電池電圧の低下を検出した場合は、受信を中止し受信結果はNOを表示します。アナログ（針）は、受信前の時刻から累積された時刻に戻ります。



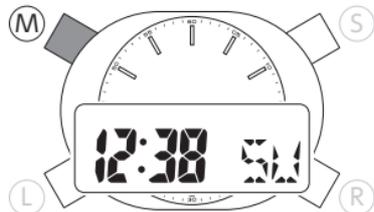
7. 時刻の合わせ方

7-3) 手動による時刻合わせ

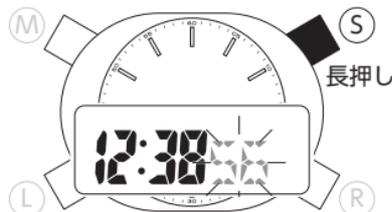
標準電波が受信できないときなど、時刻/カレンダーを手動で合わせます。

※表示する時刻は、都市時刻表示モードで選択した都市時刻が表示されます。

1. (M)ボタンを押して時刻表示モードにしてください。時刻表示状態/カレンダー表示状態のどちらからでも操作できます。



2. (S)ボタンを2秒以上押ししてください。秒が点滅します。点滅箇所が、修正できる状態です。アナログ(針)は、秒針が(S)ボタンを押した時点で止まります。修正箇所を変更するには、点滅状態で(S)ボタンを押してください。(S)ボタンを押す毎に秒/分/時/年/月/日/24時間切替えの順序で点滅箇所が変わります。



※秒/分/時/年/月/日/24時間切替えの点滅状態で、2分間操作が行われない場合は、時刻表示状態/カレンダー表示状態に戻ります。

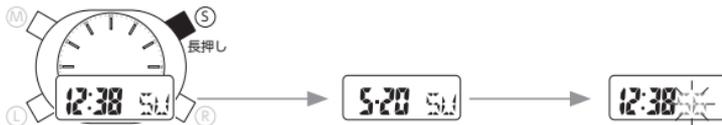
※アナログ(針)は、デジタル部で表示している時刻に早回転し運針を開始します。

秒を修正するには



(S)ボタンを押して秒を点滅させてください。点滅中、修正できます。

時刻表示状態で(S)ボタンを2秒以上押した場合は、カレンダー表示をした後、秒が点滅状態になります。



カレンダー表示状態で(S)ボタンを2秒以上押した場合は、時刻表示をした後、秒が点滅状態になります。



00~30秒が点滅している状態で(R)ボタンを押すと00秒に戻ります。



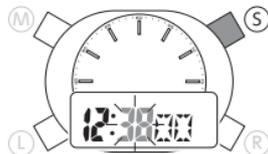
31~59秒が点滅している状態で(R)ボタンを押すと、00秒表示になると同時に分桁以上が繰り上がりります。



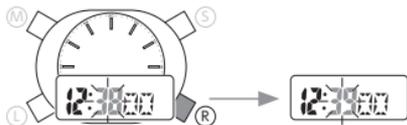
7. 時刻の合わせ方

分を修正するには

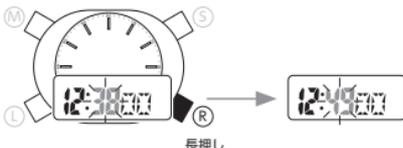
⑤ボタンを押して分を点滅させてください。点滅中、修正できます。



⑧ボタンを押すと1進み



⑧ボタンを2秒以上押すと早送りで進みます。



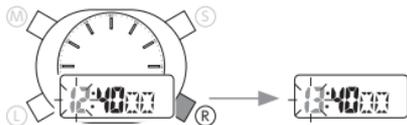
※00～59分の間で修正できます。59分から00分が変わっても時は変わりません。

時を修正するには

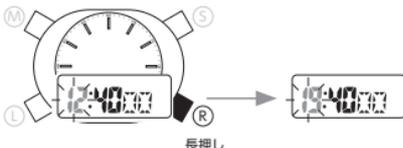
⑤ボタンを押して時を点滅させてください。点滅中、修正できます。



⑧ボタンを押すと1進み



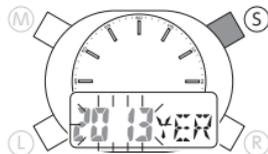
⑧ボタンを2秒以上押すと早送りで進みます。



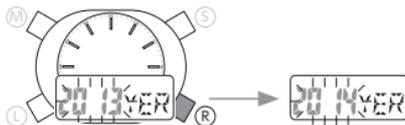
※12/24時間切替え表示があります。
12時間表示を選択（AもしくはPが点灯）では、1～12の間で修正できます。
24時間表示を選択（AもしくはPが点灯）では、0～23の間で修正できます。

年を修正するには

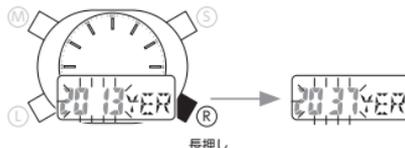
⑤ボタンを押して年（4桁）を点滅させてください。点滅中、修正できます。



⑧ボタンを押すと1進み



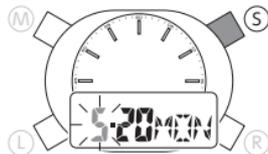
⑧ボタンを2秒以上押すと早送りで進みます。



※2000～2099の間で修正できます。

月を修正するには

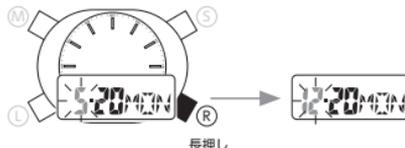
⑤ボタンを押して月を点滅させてください。点滅中、修正できます。



⑧ボタンを押すと1進み



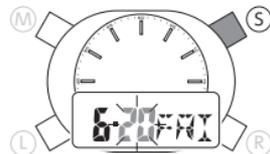
⑧ボタンを2秒以上押すと早送りで進みます。



※1～12の間で修正できます。

7. 時刻の合わせ方

日を修正するには

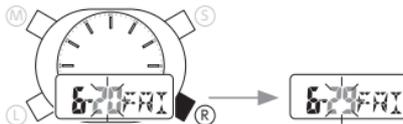


⑤ボタンを押して日を点滅させてください。点滅中、修正できます。

④ボタンを押すと1進み



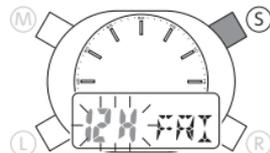
④ボタンを2秒以上押すと早送りで進みます。



長押し

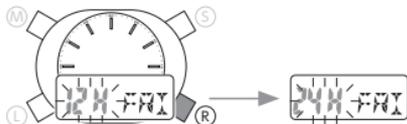
※1~31の間で修正できます。
※非存日に修正した場合は、通常状態に戻ったときに自動的に翌月の1日に修正されます。
例 2月29日(閏年以外) → 3月1日, 2月30/31日 → 3月1日, 4月31日 → 5月1日,
6月31日 → 7月1日, 9月31日 → 10月1日, 11月31日 → 12月1日。

12/24 時間表示を切替えるには



⑤ボタンを押して12もしくは24を点滅させてください。

④ボタンを押す毎に12Hと24Hの表示が変わります。



12Hを選択した場合は、通常時刻表示状態でAもしくはPが点灯し時を1~12で表示します。

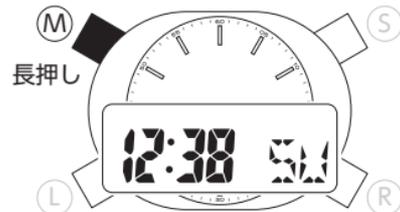
例 A12→夜12時 P12→昼12時

24Hを選択した場合は、通常時刻表示状態で時を0~23で表示します。

3. 修正が終わりましたら④ボタンを2秒以上押ししてください。点滅が終了し時刻表示状態もしくはカレンダー表示状態へ戻ります。アナログ(針)は、デジタル部で変更した時間になります。

参考

秒/分/時/年/月/日/24時間切替え、どの状態からでも④ボタンを2秒以上押すと時刻表示状態もしくはカレンダー表示状態に変わります。曜日は手動で設定しなくても自動的に変わります。



8. サマータイム設定

サマータイム設定は、OFF AUT、OFF MAN、ON AUT、ON MANの4モードから選択できます。日本および電波受信のできる国、地域では「OFF AUT」でご使用ください。電波にサマータイム情報があれば、電波受信をした際に自動で修正されます。電波発信をしていないおよび受信できない国・地域では「OFF MAN」または「ON MAN」を選んでご使用ください。また任意でサマータイム時間をONしたい場合は、「ON AUT」もしくは「ON MAN」をご使用ください。

「OFF AUT」を選択した場合

OFF AUTでは、受信できた電波にサマータイム情報があれば表示時刻を自動で+1時間修正します。（サマータイム情報が無ければ自動修正は行われません。）

※受信できる電波は、受信する地域によって異なりますので受信する標準電波局が変わった場合は、都市コードの設定を変更してください。

「ON AUT」を選択した場合

ON AUTでは、受信できた電波にサマータイム情報が無ければ表示時刻を自動で-1時間修正します。

※受信できる電波は、受信する地域によって異なりますので受信する標準電波局が変わった場合は、都市コードの設定を変更してください。

「OFF MAN」を選択した場合

OFF MANでは、受信できた電波にサマータイム情報があっても時刻表示の自動修正は、行われません。

「ON MAN」を選択した場合

ON MANでは、受信できた電波にサマータイム情報がなくても時刻表示を自動で+1時間修正します。

選択設定操作方法

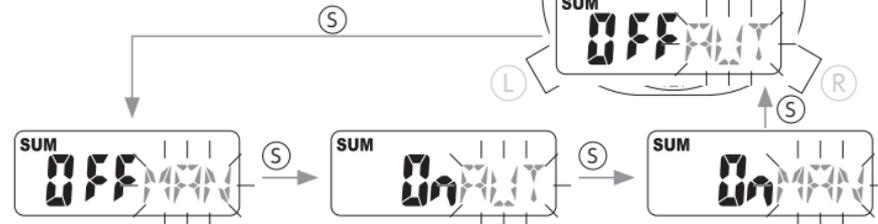
1. Mボタンを押してサマータイム設定表示モードにしてください。



2. Sボタンを2秒以上押ししてください。AUTもしくは、MANが点滅します。アナログ(針)は、停止します。

※点滅状態で2分間操作が行われない場合、AUTもしくはMANの点灯状態に戻り、アナログ(針)も運針を開始します。AUTもしくはMANが点灯状態で2分間操作が行われない場合は、デジタル部は時刻表示状態もしくはカレンダー表示状態に変わります。

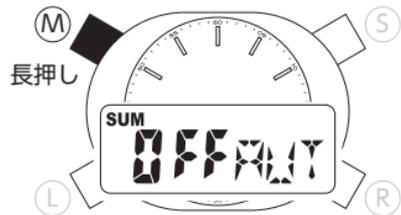
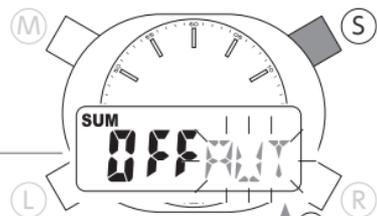
3. AUTもしくはMANが点滅状態でSボタンを押すとOFF AUT、OFF MAN、ON AUT、ON MAN、の順序で表示が変わります。



4. 選択したい点滅表示状態でMボタンを2秒以上押しすと設定完了となります。デジタル部は、設定時刻の点灯表示に変わりアナログ(針)もデジタル表示と同じ時刻へ早回転し運針を開始します。

※サマータイム設定は、ローカルタイムモードで任意に設定した時刻にも反映されます。

※「OFF AUT」に設定をしていても現地での電波受信ができなかった場合はサマータイム時刻には修正されません。

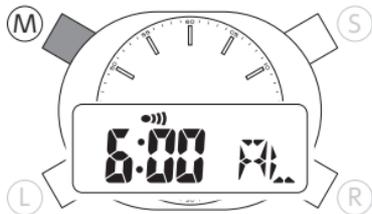


9. アラームモード

ON/OFF切替えできます。アラーム音は、約15秒鳴ります。アラーム音の調整は、できません。アラームONの設定は、時分単位で任意の時刻で設定できます。設定できる時刻は、時刻カレンダーモードに連動しています。12/24時間表示は、時刻カレンダーモードに連動しています。アラームON設定は、OFF設定をするまで継続されます。

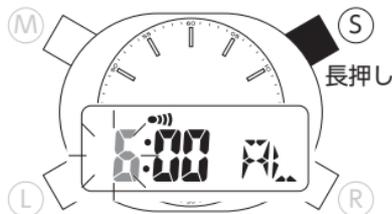
設定操作方法 (※アラームONにする場合の設定方法)

1. (M) ボタンを押してアラームモードにしてください。時・分・●) ALもしくは、OFF ALが表示されます。時・分・●) ALが表示している場合は、アラームON状態です。OFF ALが表示している場合は、アラームOFF状態です。時・分・●) ALもしくは、OFF ALが表示状態で(R) ボタンを押すと時・分・●) AL表示とOFF AL表示が切替ります。



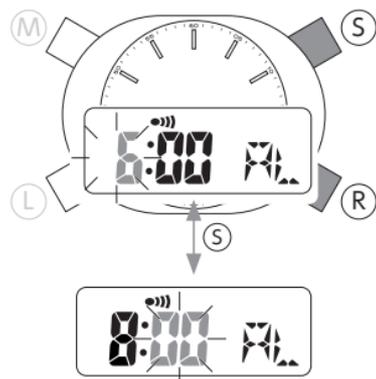
※時・分・●) ALもしくは、OFF ALが表示された状態で2分間操作が行われない場合は時刻表示状態もしくはカレンダー表示状態に変わります。

2. 時・分・●) AL表示の状態で(S) ボタンを2秒以上押ししてください。時が点滅状態になります。



※点滅状態で2分間操作が行われない場合は、点滅が終了しアラームON設定となります。

3. 点滅状態で(S) ボタンを押すと時と分の点滅が変わります。点滅箇所が修正可能です。点滅箇所で(S) ボタンを押すと1進み、(R) ボタンを2秒以上押しすと早送りが進みます。



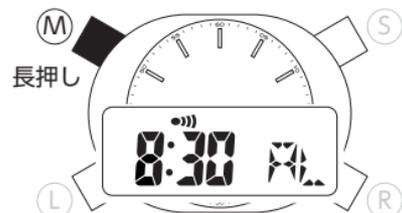
4. 修正が終わりましたら(M) ボタンを2秒以上押ししてください。点滅が終了しアラームON時刻設定の終了です。

参考

設定終了後、(M) ボタンを押すとチャイムモード表示へ変わります。

設定終了後、2分間ボタン操作が行われない場合は、時刻表示状態もしくはカレンダー表示状態に変わります。

マークは、ON設定状態のとき表示します。

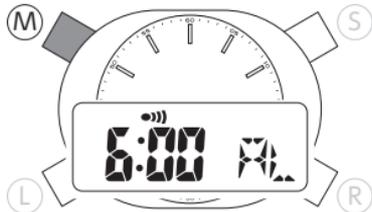


9. アラームモード

アラーム OFF にする設定方法

1. (M) ボタンを押してアラームモードにしてください。時・分・●) ALもしくは、OFF ALが表示されます。

時・分・●) ALが表示している場合は、アラーム ON状態です。



2. (R) ボタンを押してOFF AL表示にしてください。アラームOFFに設定されます。

※アラームON設定中、時分が点滅状態ではアラームOFF設定はできません。



参考

設定終了後、(M) ボタンを押すとチャイムモード表示へ変わります。

設定終了後、2分間ボタン操作が行われない場合は、時刻表示状態もしくはカレンダー表示状態に変わります。

10. チャイムモード

ON/OFF切替えができます。チャイムONでは、毎正時にピピッと音がでます。チャイムの音量は、調整できません。チャイムは、時刻カレンダーモードに連動しています。チャイムON設定は、OFF設定をするまで継続されます。

設定操作方法

1. (M) ボタンを押してチャイムモードにしてください。ON ▲ CHもしくは、OFF CHが表示されます。

ON ▲ CHが表示している場合は、チャイムON状態です。

OFF CHが表示している場合は、チャイムOFF状態です。

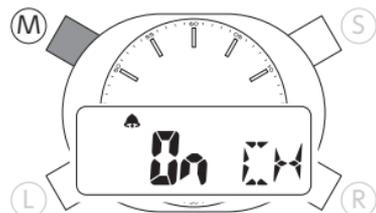
※ON ▲ CHもしくはOFF CHが表示された状態で2分間操作が行われない場合は、時刻表示状態もしくはカレンダー表示状態に変わります。

2. ON ▲ CHもしくはOFF CHが表示状態で (R) ボタンを押すとON ▲ CH表示とOFF CH表示が切替わります。表示されている状態が設定状態です。

参考

設定終了後、(M) ボタンを押すとローカルタイムモード表示へ変わります。

設定終了後、2分間ボタン操作が行われない場合は、時刻表示状態もしくはカレンダー表示状態に変わります。マークは、ON設定状態のとき表示します。

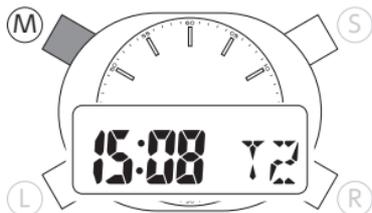


11. ローカルタイムモード

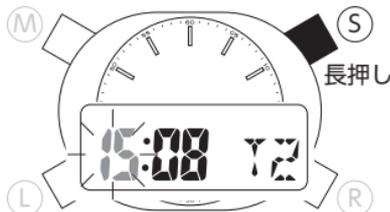
時刻カレンダーモードで表示する時刻と違う時刻を設定表示できます。ただし分は15分単位での設定になります。12/24時間表示は、時刻カレンダーモード表示と連動します。ローカルタイム設定中でも通常時刻は、動いています。

設定操作方法

1. (M) ボタンを押してローカルタイムモードにしてください。時・分・T2が表示されます。

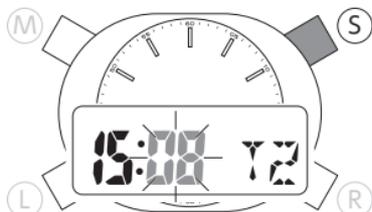


2. (S) ボタンを2秒以上押すと時が点滅します。点滅箇所が修正可能です。

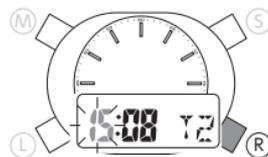


※点滅状態で2分間操作が行われない場合は、点滅が終了します。

3. 修正箇所を変更するには、点滅状態で(S) ボタンを押してください。



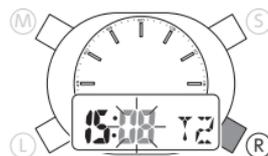
時を修正するには



時が点滅状態で(R) ボタンを押すと1進み(R) ボタンを2秒以上押すと早送りです。

※時を修正中に分の状態が59分59秒から0分0秒になった場合は、時も自動で1進みます。

分を修正するには

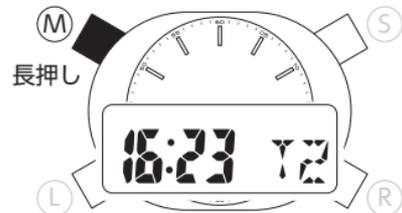


分が点滅状態で(R) ボタンを押すと押した分から15分毎進み、(R) ボタンを2秒以上押すと15分毎早送りです。

※分を修正中に秒の状態が59秒から0秒になった場合は、修正中の分は1進みます。

4. 修正が終わりましたら(M) ボタンを2秒以上長押ししてください。点滅が終了し設定の終了です。

※ローカルタイムは都市時刻モードで設定していた都市に対する時差時刻になりますので都市を変更した場合は再度、設定をお願いいたします。



12. クロノグラフモード

計測時間範囲 : 23時間59分59秒99

計測表示 : 60分未満 クロノ分 クロノ秒 クロノ1/100秒
60分以上 クロノ時 クロノ分 クロノ秒

操作音の有/無切替えができます。操作音量の調整はできません。

計測中に $\text{\textcircled{R}}$ ボタンを押すと、表示が一時ストップし、 $\text{\textcircled{R}}$ ボタンを押したタイムを約10秒間表示しますが、計測は $\text{\textcircled{S}}$ ボタンを押すまで続けます。

計測操作方法

$\text{\textcircled{M}}$ ボタンを押してクロノグラフモードにしてください。

前回の計測結果が表示されている場合は、 $\text{\textcircled{R}}$ ボタンを押してリセット状態 [00'00"00] にしてください。

通常計測 1

1. $\text{\textcircled{S}}$ ボタンを押すと計測が開始され**CHR**が点灯します。



2. 計測中に $\text{\textcircled{S}}$ ボタンを押すとストップ時間を表示され**CHR**が消えます。



3. $\text{\textcircled{R}}$ ボタンを押すとリセット状態 [00'00"00] 表示に変わります。



通常計測 2

1. $\text{\textcircled{S}}$ ボタンを押すと計測が開始され**CHR**が点灯します。



2. 計測中に $\text{\textcircled{S}}$ ボタンを押すとストップ時間を表示され**CHR**が消えます。



3. $\text{\textcircled{S}}$ ボタンを押すと計測を開始します。2でストップした計測時間から開始します。



4. 3.の操作は繰り返し行えます。



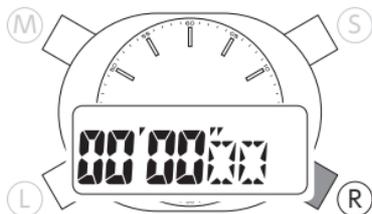
5. 3.もしくは、4.の操作終了後、 $\text{\textcircled{R}}$ ボタンを押すとリセット状態 [00'00"00] 表示に変わります。



12. クロノグラフモード

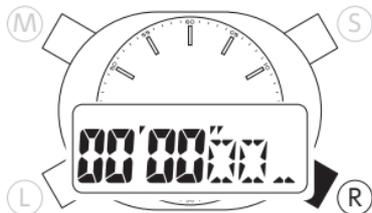
操作音の有無選択方法

1. 前回の計測結果が表示されている場合は、
③ボタンを押してリセット状態【00'00"00】
00】にしてください。



2. ③ボタンを2秒以上押してください。

- ・音あり表示: 【00'00"00】
- ・音無表示: 【00'00"00_】 → 表示の一番右に
_が表示されます



参考

クロノグラフモードでは、リセット状態・ストップ状態・計測状態いずれの状態からでも③ボタンを押すと他のモードへ切替えることができます。

リセット状態・ストップ状態・通常計測状態から他のモードへ切替えた場合は、それぞれの状態は維持され再びクロノグラフモードへ切替えた場合もそれぞれの状態は、維持されています。

※計測中に計測時間が24時間に達した場合は、計測は中止されリセット表示状態になります。

13. LED 照明の使い方

時計の④ボタンを押しますとLED照明が点灯します。ボタンを1回押した時の点灯時間は約2秒です。
※LED照明を多用しますと二次電池の消耗を早めますのでご注意ください。
※二次電池電圧低下防止のためLED照明消灯後約2秒間は④ボタンを押しても再点灯しません。しばらく待ってから再度ボタン操作を行ってください。



14. 基準位置確認方法 基準位置の合わせ方

基準位置とは、時計内部のICが記憶している電波受信をして正しく時刻表示するための元になる位置です。この基準位置では、アナログ（針）も12時00分00秒を示します。

時計に大きな衝撃が加えられたときや、静電気、磁力の影響などでICの記憶している基準位置と実際のアナログ（針）の位置がずれることがあります。

基準位置がずれていると電波の受信に成功してもアナログ（針）表示は正しい時刻を表示しません。

※基準位置確認操作は、受信または手動による時刻合わせを行ってもデジタルとアナログ（針）の時刻が一致しない場合に行ってください。

操作方法

1. 時刻カレンダーモードの時刻修正状態にしてください。

「7. 時刻の合わせ方 手動による時刻合わせの操作方法」(P32~37) 1.~2.を行ってください。秒を点滅状態にしてください。

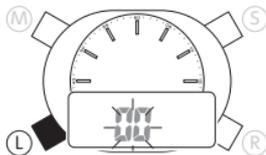
2. 秒が点滅状態で①ボタンを7秒以上押し続けてください。デジタル部は、00点滅状態になり、アナログ（針）が基準位置（12時00分00秒）へ早回転を開始する基準位置確認状態となります。

3. 早回転後、時分秒針全てが12時00分00秒で停止した場合は、アナログ（針）の基準位置は正確です。

④ボタンを2秒以上押しと基準位置が決定となり時刻表示が変わります。

※針がずれている場合は、4.の操作をしてください。

50



長押し

基準位置が合っている場合

基準位置がずれている場合

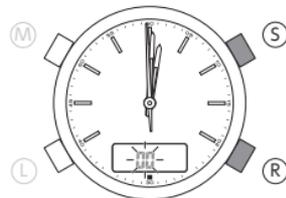


12時00分00秒以外で停止をした場合は下記の操作で12時00分00秒に合わせてください。

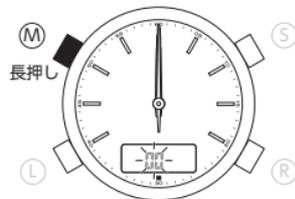
4. 針がずれている場合は、⑤ボタンもしくは⑥ボタンで修正してください。

⑥ボタンを押すと1秒進み、⑥ボタンを2秒以上押しと早回転で進みます。

⑤ボタンを押すと1秒戻り、⑤ボタンを2秒以上押しと早回転で戻ります。



5. 修正が終わりましたら④ボタンを2秒以上押し続けてください。基準位置が決定となり時刻表示が変わります。



6. 現在時刻でない場合は、7. 時刻の合わせ方 強制受信 (P29~31) をしてください。

51

15. データの初期化

基準位置・時刻・カレンダーなどデータを初期化することができます。

※この作業は、静電気などの何らかの影響により時計の機能に異常が発生し、通常の操作では回復できない場合以外には行わないでください。

※データの初期化終了後は必ず基準位置合わせをしてください。基準位置が合っていないと受信に成功してもアナログ（針）表示とデジタル表示は合致しません。

操作方法

1. 全てのモードから操作できます。

2. 4つのボタン全てを同時に2秒以上押してください。

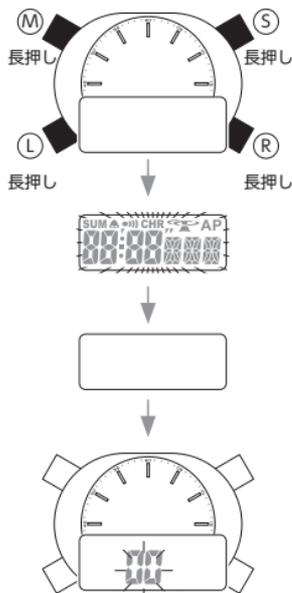
デジタル表示が全消灯します。アナログ（針）は、停止します。7秒後に全点滅のち全消灯します。

全消灯後4つのボタン全てを押すのを解除してください。00点滅状態に変わります。00点滅状態になりましたらデータの初期化は終了です。

3. 14. 基準位置の合わせ方の 4～5. の操作 (P51) をしてください。

4. 7. 時刻の合わせ方 強制受信 (P29～31) をしてください。電波受信が成功いたしますと正しい時刻・日付に修正されます。

※データの初期化後は都市時刻モードは「TYO」に自動設定されますのでご注意ください。



16. 困ったときに

■ 針の動きがおかしい

秒針が2秒毎に動く

→充電不足の可能性があります。2. 商品の特徵 2-1) ソーラー電源機能搭載時計について (P11～13) を参照の上、充電してください。

全ての針が停止している

→充電不足の可能性があります。2. 商品の特徵 2-1) ソーラー電源機能搭載時計について (P11～13) を参照の上、充電してください。

■ 時刻・日がおかしい

アナログとデジタルの時刻が合わない

→基準位置がずれている可能性があります。14. 基準位置確認方法 基準位置の合わせ方 (P50～51) を参照の上、基準位置を直してください。

時刻や日が正しくない

→正しく電波受信できていない可能性があります。7. 時刻の合わせ方 強制受信 (P29～31) を参照の上、電波受信を行ってください。

■ 電波受信をしても「NO」の表示しか出ない

→受信環境があまり良くない可能性があります。2. 商品の特徵 電波を上手に受信するために (P18) を参照の上、電波受信を行ってください。

→標準電波が停波している可能性があります。標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、補修作業や雷対策で一時送信が中断されることがあります。詳しくはそれぞれの標準電波の管理機構にお尋ねください。

16. 困ったときに

■サマータイム設定のご使用例

この時計は、OFF AUT、OFF MAN、ON AUT、ON MANの4モードからサマータイム設定ができます。世界各国のサマータイムの有/無に応じて、設定を切替えてください。詳しくは、**8. サマータイム設定** (P38) をご確認ください。

サマータイムが実施されておらず、電波受信が可能な地域の場合

日本や中国などでご使用の場合には、「OFF AUT」でご使用ください。



⑤

サマータイムが実施されておらず、電波受信が可能な地域の場合

アメリカの一部地域などでご使用の場合には、「OFF MAN」でご使用ください。



⑤

サマータイムを実施しており、電波受信が可能な地域の場合

ドイツなどでご使用の場合には、「ON AUT」でご使用ください。



⑤

サマータイムを実施しており、電波受信が不可能な地域の場合

オーストラリアなどでご使用の場合には、「ON MAN」でご使用ください。



17. 保証とアフターサービス

- ①修理のご依頼は原則として、現品に保証書を添えてお買い上げ店にご持参ください。
 - ②当社は時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ガラス、側、バンド、文字板、針などの外装部品につきましては、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、ご了承ください。
 - ③保証期間を過ぎたものの修理については、有償にて申し受けます。また修理可能期間につきましては、ご使用の状態でいちじるしく異なりますが、部品保有法定期間に準じます。
 - ④ご贈答、ご転居によりお買い上げ店での保証が受けられない場合は、下記シチズン時計(株) Q&Q お客様相談室へ保証書を添えてご郵送またはご持参ください。その場合の諸掛りはお客様のご負担となります。
- ※ご郵送の場合は紛失などを防ぐため簡易書留をご利用ください。

サービス窓口：**Q&Q お客様相談室**

TEL.

0120-977-319

受付時間

10～12時 / 13～16時

月～金(祝日、年末年始を除く)

メールアドレス

qqsupport@citizen.co.jp

URL

http://qq-watch.jp

製造発売元 **シチズン時計株式会社 Q&Q課**

